

報告案件

資料2 南部地域の公共交通の取り組み

※今年度の取り組みを踏まえて、次年度以降も引き続き検討していきます。

2-1 南横山校区

【概要】

- ・今年度の路線バス、路線維持運行バスの乗降調査やアンケート調査、ワークショップを踏まえて、南横山校区における公共交通の取り組みを整理している。

【公共交通の現況調査①】

- ・路線バス「父鬼線」、路線維持運行バス「父鬼ルート」の運行に関する経年推移と遠距離通学バス利用状況を踏まえて、今年度を実施した乗降調査の総評を記載している。

【公共交通の現況調査②】

- ・公共交通に関するアンケート調査結果について、設問のうち父鬼町・大野町・側川で回答傾向や考え方に共通性が高い項目を主に記載している。
- ・同校区の人口は 884 人[男:429 人/女:455 人/世帯数:283(令和元年 5 月末)]

【公共交通の現況調査③】

- ・地域の暮らしの移動を考えるうえで、各グループから出された意見の中で共通性が高く、特に意見の多くあった内容をまとめている。
※グループワークで出された意見は資料 2-1 裏面の表を参照してください。
- ・地域住民の皆さんが特に優先的に必要とするものとして、対象を高齢者に設定し、交通サービスや地域・まちづくりに向けた意見を整理している。

2-2 横山校区

【概要】

- ・オレンジバスのこれまでの利用状況やアンケート調査、ワークショップを踏まえて、横山校区における公共交通の取り組みを整理している。

【公共交通の現況調査①】

- ・平成 30 年度のオレンジバス年間乗降人員を踏まえて、西ルート及び東ルートの利用実態の総評を記載している。

【公共交通の現況調査②】

- ・公共交通に関するアンケート調査結果について、設問のうち 12 町会で回答傾向や考え方に共通性が高い項目を主に記載している。
- ・同校区の人口は 4,612 人[男:2,250 人/女:2,362 人/世帯数:1,355(令和元年 5 月末)]

【公共交通の現況調査③】

- ・地域の暮らしの移動を考えるうえで、各グループから出された意見の中で共通性が高く、特に意見の多くあった内容をまとめている。
※グループワークで出された意見は資料 2-2 裏面の表を参照してください。
- ・地域住民の皆さんが特に優先的に必要とするものとして、対象を高齢者に設定し、交通サービスや地域・まちづくりに向けた意見を整理している。